

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

学校評価表作成について変更した点は朱書きしています

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>■ 県共通の重点取組について学年によっては「概ね達成」以上の評価であり一定の成果は上げられている。しかし、県平均を下回っている学年もある。今後は更に児童や保護者との意思疎通・連携を図りながら指導改善に生かしていきたい。</p> <p>■ 学力向上のための基礎基本の徹底を図るとともに、読解力を高める授業改善に取り組んでいきたい。</p>
------------------	---

2 学校教育目標	自ら気付き、人との関わりの中で自分らしさを発揮しながら課題解決に向かう児童の育成
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>① 自ら考える力を培い、主体的で創造性豊かな児童を育て、学力向上を図る。</p> <p>② 自然や人間に愛情をもち、やさしく思いやりのある児童を育て、心の教育を充実する。</p> <p>③ 健康や安全に留意し、強い心とたくましい体の児童を育てる。</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標

重点取組内容・成果指標				中間評価	5 最終評価				主な担当者	
(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
● 学力の向上	○ 自ら学び続ける児童の育成につながる授業づくり	○ 児童アンケートにおいて肯定的に回答する児童の割合を80%以上を目指す。	・ 児童に身につけさせたい力をはっきりさせ、身についた姿(振り返り)をイメージした授業づくりを探る。		・		・			研究主任・研究副主任
● 心の教育	● 児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○ 児童アンケート「学校が楽しいですか」で、肯定的回答の割合を80%以上を目指す。 ○ 保護者アンケート「お子さんは、『学校が楽しい』と感じていると思いますか」で、肯定的回答の割合を90%以上を目指す。	・ ネット上の危険性、ルールやマナーについて授業を行うなど、情報モラル教育を充実させる。 ・ 児童の実態把握のためのアンケートを定期的実施し、児童理解に努める。		・		・			人権・同和教育担当 情報教育担当
	● いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○ 保護者アンケート「学校は、いじめ防止に向けた取組を適切に実施していると思いますか」で、肯定的回答の割合を75%以上を目指す。	・ いじめアンケートや「月のこころ」を有効に活用し、早期発見と対応を継続して行う。		・		・			教育相談担当
	● 児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	● 「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ● 「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・ 児童の実態に応じた道徳の単元構成や人権・同和教育の計画的な運用を図る。 ・ 将来への見通しが持てるように、キャリアパスポートを定期的に活用を行う。		・		・			道徳主任
● 健康・体づくり	次の中から1つ以上を選択 ① 「運動習慣の改善や定着化」 ② 「望ましい生活習慣の形成」 ③ 「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ④ 「安全に関する資質・能力の育成」	① 授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒60%以上 ② 「早寝・早起き・朝ごはん」を奨励し、朝食接種率の割合を90%以上を目指す。 ③ 「健康に良い食事をしている」児童生徒85%以上 ④ 児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	① 授業や学級経営の中で、体を動かすことの大切さや楽しさを感じさせる。 ② 「早寝・早起き・朝ごはん」は、心身の健康に大切なことを常に発信していく。(免疫力向上) ③ 教科等の時間や給食時間を通して食に関する指導を計画的に実施する。 ④ 月1回の生活指導を行うとともに、学年主任を中心とした取組を行う。		・		・			体育主任 保体部 栄養教諭
	○ 「望ましい生活習慣の形成」	● 保護者アンケートの結果で、肯定的回答の割合を90%以上ををめざす。	・ 朝食喫食率が低い学年においては、学級活動で朝食に関する指導を行い、個別指導を行う。		・		・			栄養教諭 保体部
● 業務改善・教職員の働き方改革の推進	● 業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	● 教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・ 定時退勤推進日を設定するとともに継続した声かけを行う。 ・ 学校閉庁日を設定する。 ・ 繁忙期とそうではない時期を明確にし、年間を通し、軽重を付けた働き方を行う。		・		・			教頭
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○ 開かれた学校づくり コミュニティ・スクール	○ 地域と連携した体験活動の推進 ○ 積極的な情報発信	○ 新型コロナウイルス感染防止対策を十分講じた上で、地域の人材を活用した体験活動を通して、地域との連携を進める。 ○ 保護者アンケート「学校の教育方針・内容を概ね知っている」の肯定的回答の割合を80%以上を目指す。	○ 地域の人材を活用した体験活動を通し、地域との連携を進める。 ○ 保護者アンケート「学校の教育方針・内容を概ね知っている」の肯定的回答の割合を80%以上を目指す。		・		・			
○ 教職員の資質向上 (若手教員の育成)	○ 教員の授業力向上	○ 児童アンケートで「授業が楽しい」と肯定的回答の割合を85%以上、保護者アンケートで「授業を工夫している」の肯定的回答の割合を80%以上を目指す。	・ 若手同士が切磋琢磨できる環境づくりとして、授業づくりや学級経営に関して気軽に相談できる研修会を行う。 ・ 学年やグループ間の連携を図り、授業づくりについて日ごろから相談しやすい環境づくりを行う。		・		・			主幹教諭 指導教諭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------